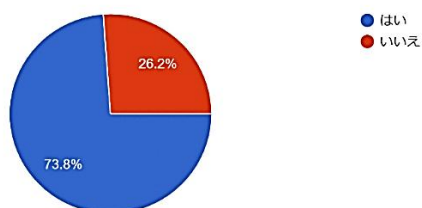


生徒の意見で、本に親しみ、楽しく学べる図書館に！

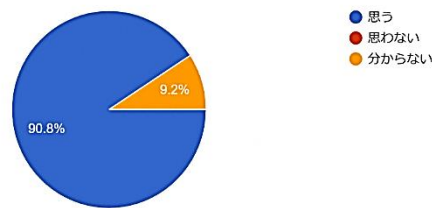
青垣中学校図書委員会・プロジェクト会議

青垣中学校では、図書室の利用者を増やし、生徒が読書に親しめるようにするために、図書委員会を中心に活動しています。毎年3学期には、生徒の図書館利用アンケートを取って、その年の活動を振り返り、次年度に生かしています。丹波市の「こどもが描く学校図書館づくり」支援事業が令和7年度から始まりましたが、青垣中学校では令和7年度の3学期からアンケートで生徒の意識や希望を調べ、今年度のプロジェクトに向けて準備を始めました。そして4月の始めに「生徒の意見で、本に親しみ、楽しく学べる図書館に！」というスローガンを掲げ、プロジェクトをスタートしました。

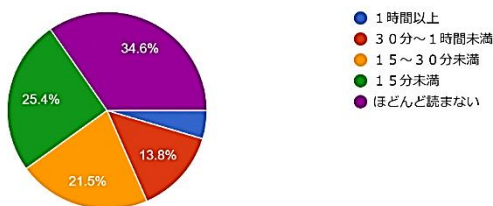
問1 あなたは読書が好きですか。
130件の回答



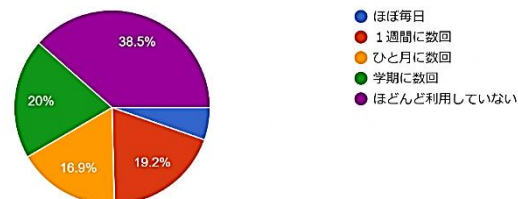
問2 読書は大切だと思いますか。
130件の回答



問3 あなたは朝読以外で1日どのくらい読書をしますか。
130件の回答



問6 あなたは、この1年間、給食準備時間や昼休みに図書室をどのくらい利用しましたか。
130件の回答



《生徒の声(一部)》

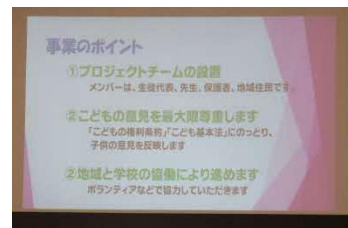
- ・昼休みや給食前は準備があつて図書室に行けなかったりするから、行けるタイミングを増やすと行きたいけど行けない人も行けると思う。
- ・流行っている本をもっと置いたら人がたくさん来てくれると思います。
- ・(本の紹介)放送の内容をもっと具体的にする。
- ・図書室は「黙ってずーっと本を読まないといけない」というイメージが強すぎて気軽に入れない。
- ・文庫本や人気の本の種類を増やしてほしいです。
- ・マンガを増やす。
- ・明るく入りやすい雰囲気にする。

【第1期(4月～8月)の取組】

4月 職員会議(実施要項説明) プロジェクトチームの設置

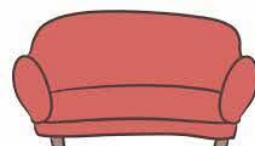
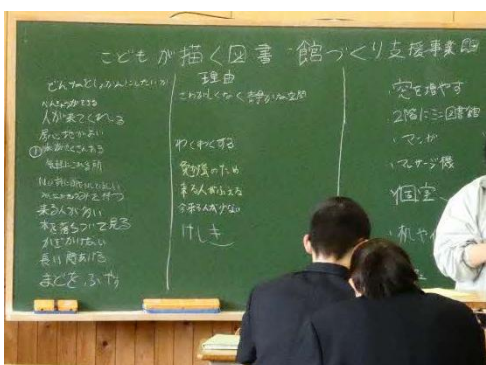
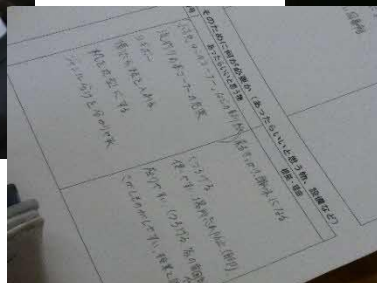
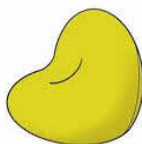
生徒会3役会議(実施要項の説明)(4月15日)

生徒集会(実施要項の説明)(4月20日)



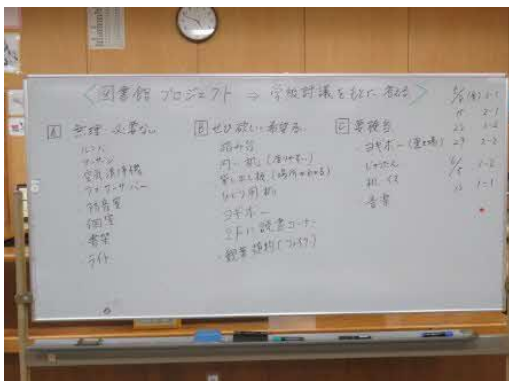
4月20日の生徒集会で、全校生に「こどもが描く学校図書館づくり」支援事業の趣旨説明を行いました。学校図書館の3つの機能、①読書センター（生徒が読書活動を行ったり、心の栄養として、読書の楽しさを学ぶ場所）、②学習・情報センター（生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成し、学習に役立つ場所）、③癒しの場、居場所（教室でも家庭でもない「第三の居場所」として、生徒が安心して過ごせる場所）を理解した上で、今ある青垣中図書館をもっと使いやすく、みんなが行きたくなる図書館にするためにはどうしたらいいか、どんな風にリニューアルしたいか、生徒全員で考えていきたいと図書委員長が訴えました。

4月 生徒の意見・希望集約の学級討議(4月28日)



4月28日の学級討議は、各クラスの図書委員が司会進行を務め、生徒会3役が各クラスにアドバイザーとして入って進めました。①どんな図書館にしたいか、②そのために何が必要か(欲しいか)についてグループごとに話し合い、それを学級全体でまとめていきました。どのクラスもとても活発に話し合いが進み、良い意見が出し合われました。

5月 図書委員会(5月7日、19日)、生徒総会(5月27日)



学級討議で話し合ったことを各クラスの図書委員が持ち寄り、図書委員会で検討しました。図書委員会は二回にわたって行い、二回目のときにはプロジェクト会議の地域代表の方もオブザーバーとして参加してくださいました。

学級討議で出された意見の集約

(1) どんな図書館にしたいか ①読書センター ②学習情報センター ③居場所

- ・落ち着ける ・リラックスできる ・くつろげる
- ・居心地がいい ・休める ・家のような空間
- ・楽しめる空間 ・気軽に来られる ・カフェのようにおしゃれ
- ・静かに勉強できる ・騒がしくなく静か ・静かで集中できる
- ・一人になれる(読書・勉強)
- ・落ち着いて本が読める ・本がたくさんある
- ・図書室と学習室を分ける → どこに? 管理の問題 利用のルールが必要
- ・長時間開ける(放課後) → 管理の問題

①読書 ③居場所

①読書 ②学習

(2) そのために何が必要か(あったらいいと思う物)

- ・◎ソファ
- ・◎ヨギボー、クッション、座布団
- ・◎じゅうたん、ラグ、ホットカーペット

- ① 図書館内の配置をどうするか?
- ② 優先順位

- ・○観葉植物(造花) ・○踏み台
- ・◎机と△イスを新しくする → 両方は無理
- ・◎書棚
- ・△掲示板、看板(図書室の外に置く)
- ・◎一人用の机(仕切り)
- ・△音楽 ・△2階に図書コーナー
- ・○景色を見ながら読む場所
- ・○明るいカーテン
- ・◎今どきのマンガやクイズの本

図書館備品として、必要な物

- ・書架の増設
- ・掲示スペース
- ・印刷用インク
- ・ラベルプリンター(テプラ)
- ・ブックトラック
- ・学級文庫の書棚

(3) 実現が難しいもの・図書館の役割として不必要な物

- ・マッサージチェア ・ウォーターサーバー(ドリンクバー) ・個室
- ・アプリ、モニター、タッチパネル ・机の上にミニ電球 → 工事が必要な物はできない

話し合ってみると、限られたスペースの中で図書館の3つの機能を全て叶えるために何を優先していくのか判断するのがとても難しく、みんなで意見を出し合いながら優先順位を決めていきました。そして、5月27日の生徒総会で、学級討議で出された意見をもとに話し合った結果と図書委員会としての方向性を図書委員長が報告しました。

6月 第1回プロジェクト会議(6月9日)



地域の方からは、本で学習することの大切さや本の管理を楽にする工夫についてのアドバイス、丹波市図書館で力を入れておられる電子書籍についてや公共図書館の工夫など、参考になる話もたくさん聞けて有意義な会になりました。

第一回プロジェクト会議では、まず青中図書館の現状と課題を伝えました。そして、生徒が考えた図書館のイメージや要望を報告し、様々な立場から意見を出していただきました。



6月 事業計画書、予算計画書提出(6月19日)



みんなの要望をできるだけ取り入れて、必要な物やほしい物を選び、提出書類を作成しました。リニューアルした図書館を図で表して掲示し、全校生に伝えました。

7月 購入図書の登録、配架 夏季休業中の長期貸出



市費で購入した前期分の新しい本は、図書館外に展示して見てもらうようにしています。図書だよりや本の帯の展示などでも紹介します。



新しい本が入ると、たくさんの方が来館してくれました。青中図書館は、生徒だけでなく先生方もよく利用されています。夏休み中も10日間の開館日を設け、文化祭の脚本選定や学習等で利用することができます。



1学期の最終日は大盛況でした!

8月 図書館整備 夏季休業中の開館